



東北復興 MHSW にゆうす

新年明けましておめでとうございます。昨年度も全国各地で様々な自然災害が発生し、常に災害は身近なものであること、そして災害に対する備えが必要であることを実感するばかりです。今回は、2021年3月20日に開催された東日本大震災復興支縁オンライン交流会の登壇者、福島県支部長の水野英一様に、あらためて当日語られなかった想いを語っていただきました。水野様の想いに触れることで、今、自分が、できることは何かを考える良い機会になるかと思えます。
(東日本大震災復興支援委員会一同)

東日本大震災復興支縁オンライン交流会に参加して感じたこと

福島県支部 支部長 水野 英一



2021年3月20日に行われた東日本大震災復興支縁オンラインにシンポジストとして参加させて頂きました。震災からちょうど10年が経過したというタイミングでの開催でしたので、震災当時のことだけではなく、その後の10年を自分自身はどのように向き合って日々生活していたのかをフィードバックする良い機会となりました。せっかく頂いた機会なので、伝えたい思いが沢山ありましたが、当日の交流会では伝えたいように伝えられなかった反省もありました。

「10年」という区切りをつけてしまうと、どうしても気持ちの整理がついたような感覚に陥ってしまいがちですが、今回の交流会は、未来について考え視線を向けることができた有意義な会であったと、私はシンポジジウムのみ参加でしたが感じました。

実際に、この10年の間にも日本各地で数々の自然災害が発生しました。その都度、日本精神保健福祉士協会本部や各都道府県支部ができることを考えて取り組み、構成員に協力を呼び掛けた経過がありました。これは、災害対策委員会が立ち上げられた成果でもあり、東日本大震災の経験から私たちが学んだアクションである所以だと思います。それ故に、「体験したことを伝える」こと、「これからのことを考えられるように伝える」ことの大切さを痛感する10年でもありました。

その中で、震災以降、毎年行っていた「復興支縁ツアー」の企画や全国大会における物販を通してのPR活動、本紙「東北復興MHSWにゆうす」の発行を継続して行ってきたこと等は、伝えることをコツコツと積み上げていった意味のあるアクションだと思います。東日本大震災復興支援委員会の皆様、本当にありがとうございます。

余談になりますが、先日他県の方から『「災害に備えておくべきことは何か』を福島県の立場から話してほしい』と個人的にお話を頂き、オンラインで発表させて頂いた機会がありました。その後、主催者側の配慮により、その発表に関するアンケートを拝見することができました。聴いていただいた皆さんは優しい方々(?)で好意的なお声を数多くいただきましたが、「はっきり優しく正直に示されてありがたかったが、実体験のない身に刻むまでのことは出来なかった」という感想もいただきました。自分の伝え不足もあるかもしれませんが、やはりこれまで体験をしたことがない場合は、生活に密着させて考えることが難しいのだろうということも理解しているところです。

自分自身も「阪神・淡路大震災」の際は当時学生で、胸が苦しくなる恐ろしい出来事だと感じ、募金したりなど自分ができることをやったつもりですが、心のどこかで「自分たちが住んでいるところでなくてよかった」と思っていました。自分に安心感を得たいためにそう思って逃げていたのだと振り返ります。そう考えると、やはり「自分のことではない」という思いがあると、危機感が薄まってしまふのは仕方ないことだと思います。それ故に「体験したことを伝える」以上に「これから自分に起きることだと想定して考えられるように伝える」ことが本当は理想なのかもしれません。

その為にはどのように自分が努力していけばよいのかを考えなければならないのですが、現在模索中です。少なくともこれから「伝えることを逃げずに、相手に響くように伝えるにはどうすればよいか?」を探求していきたいと思えます。

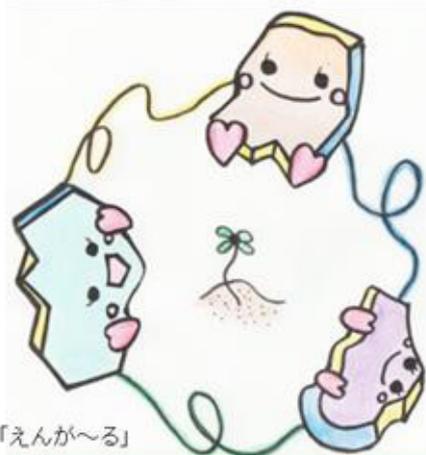
東日本大震災

復興支縁 オンライン交流会

in 東北

日時 2022年
3/26(土)14:00~19:00

“今”だから、
オンラインで、
お話し、
しませんか？



マスコットキャラクター「えんが〜る」

東北には、まだまだ復興途上の場所があります。今回のオンライン交流会では、東北の“今”をお伝えしたいと思います。

参加申込ウェブフォーム掲載 URL

参加費
無料



復興支縁オンライン交流会

東北に『縁(ゆかり)』を感じていただけるツアーになるように……

そして、訪ねる側と迎える側との 構成員の出会いが
末永い『縁(ゆかり)』へと 繋がりますように……

そんな願いを込めて「支援」ではなく、『支縁』の文字を使用しています。
今回は、コロナ禍の影響を鑑みて、“オンライン交流会”としました。

開催日：2022年3月26日(土) / 14:00~19:00 (申込締切：2022年2月25日(金))

参加対象：本協会構成員

定員：40名(先着順/定員になり次第受付終了。最小催行人数 10名)

・グループ分けのために受講者名簿を作成します。名簿には参加者全員のお名前、支部名を掲載いたします。

14:00~14:20	Zoom への入室受付	各事業所より発表いただきます。 (一部調整中)
14:30~14:40	オリエンテーション	
14:40~15:40	シンポジウム「東日本大震災を経験した事業所の現在(いま) ・朋友館(岩手県)・星雲工房(岩手県)・きらら女川(宮城県)・工房地球村(宮城県)・コーヒータイム(福島県)	昨年度のアンケートにてご要望いただきましたオンライン懇親会を企画しました(任意)。また、全国大会の対面物販がなかったことを踏まえ、希望者には被災地事業所の製品を中心としたおつまみセットを販売します。詳細は申込フォームをご確認ください。
15:40~15:50	休憩	
15:50~16:40	交流会 グループに分かれて想いを語り合う時間とします。	
16:40~17:00	全体共有 *懇親会に参加されない方はここで終了です。	
17:00~17:30	休憩	
17:30~19:00	懇親会	
19:00	閉会	

*プログラムの内容は一部変更となる可能性があります。*変更・取消は、メールまたはお電話にて事務局までご連絡ください。

■詳細・お申込みは→<https://www.jamhsw.or.jp/ugoki/event/online/index.html>

<問い合わせ先>公益社団法人日本精神保健福祉士協会 事務局(担当:露崎)

TEL:03-5366-3152 FAX:03-5366-2993 E-mail:office@jamhsw.or.jp



復興支“縁”ツアー・オンライン交流会の軌跡



2019年3月までの復興支縁ツアーに続き、2021年3月には「オンライン交流会」を開催しました。
3県の方からお話を伺えたり、オンラインだから参加できる方がいたり、この企画の良さもありました。
2022年3月もオンラインで開催します！皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！

2011年3月11日(金)東日本大震災

東日本大震災対策本部設置(本部長:竹中秀彦会長、副本部長:小関清之副会長、柏木一恵副会長) 被災地支援募金受付開始	3月12日 3月14日 4月～	被災地支援活動派遣開始 福島県いわき市・南相馬市・宮城県石巻市・東松島市
第47回全国大会第10回学術集会(和歌山)	6月9-11日	
被災地支援募金受付終了(総額:7,054,877円)	2012年 3月31日	
東日本大震災復興支援本部設置(本部長:柏木一恵会長、本部長代行:小関清之理事、副本部長:木太直人常務理事)	4月1日	
第48回全国大会第11回学術集会(熊本)	6月21-23日	(福島から急きょ熊本に)
	9月15日	東北復興PSWIにゆうず(創刊号)
	2013年 1月～	「ほっとミーティング in 石巻」(大船渡、福島、名古屋でも)
第49回全国大会第12回学術集会(石川)	6月13-15日	有志構成員による被災地製品販売開始
東日本大震災復興支援活動助成金制度創設	9月9日	
	2014年	
第50回全国大会第13回学術集会(埼玉)	6月19-21日	東日本大震災復興支援委員会発足(福井康江委員長)
総会決議にて復興支援本部から復興支援委員会へ		被災地障害者作業所等製品販売事業
	11月22-23日	復興支“縁”ツアー in ふくしま (第1回ツアー)
	11月15日	東北復興PSWIにゆうず(第13号)新体制始動報告 えんがー誕生
	2015年 3月21-22日	復興支“縁”ツアー in みやぎ (第2回ツアー)
復興支援活動募金「支える人を支える募金」受付終了(総額:2,710,639円)	3月31日	
	4月25-26日	復興支“縁”ツアー in いわて (第3回ツアー)
	5月15日	東北復興PSWIにゆうず(第16号)
第51回全国大会第14回学術集会(福島)	6月25-27日	物販事業被災地障害者作業所等製品販売事業 ポスターセッション「復興支援ツアー参加者アンケートの報告～被災地が見つないだもとはは」(福井委員長)
	9月	被災地障害福祉事業所の販路拡大支援事業開始(協会HPでPR)
	2016年 3月12-13日	復興支“縁”ツアー in ふくしま (第4回ツアー)
熊本県熊本地方を震源とする地震災害対策本部設置	4月14日	熊本地震発生
第52回全国大会第15回学術集会(山口)	6月16-18日	物販事業被災地障害者作業所等製品販売事業
	2017年 3月18-19日	復興支“縁”ツアー in みやぎ (第5回ツアー)
	9月15日	東北復興PSWIにゆうず(第30号)
第53回全国大会第16回学術集会(大阪)	9月14-16日	被災地障害者作業所等製品販売事業 分科会:委員会活動報告「復興支縁ツアーの軌跡-援から縁へ」(福井委員長)
	2018年 3月3-4日	復興支“縁”ツアー in いわて (第6回ツアー)
7月豪雨非常災害対策本部設置	5月27日	復興支援委員会開催(仙台)新体制:菅野直樹委員長(福島)
台風第21号災害対策本部設置	7月	7月豪雨(西日本豪雨)
北海道胆振東部地震災害対策本部設置	8月28日	台風21号
	9月6日	北海道胆振東部地震
第54回全国大会第17回学術集会(長崎)	9月13-15日	被災地障害者作業所等製品販売事業【売上の一部を「被災地支援活動のための構成員等の募金活動」へ】 参加事業所の様子をスライドショーで上映
	2019年 3月2-3日	復興支“縁”ツアー in ふくしま (第7回ツアー)
	5月15日	東北復興PSWIにゆうず(第40号)
	7-8月	検証作業:三県ヒアリング(岩手、宮城、福島)
第55回全国大会第18回学術集会(愛知)	8月29-31日	被災地障害者作業所等製品販売事業(参加事業所のスライドショー上映、分科会、ポスター発表)
	2020年 3月	コロナ禍の影響を受けて宮城ツアー中止
第19回学術集会(WEB開催)	9月11-30日	
	2021年 3月20日	復興支援オンライン交流会
第56回全国大会第20回学術集会(ライブ配信およびオンデマンド配信)	9月10-11日	
	2022年 3月26日	第2回復興支援オンライン交流会<予定>

活動の検証 ～報告書づくり進捗のご報告～

55号でもお知らせいたしましたでしたが、当委員会では現在、活動報告書づくりを進めています。目玉はなんといっても、災害対策本部から復興支援本部、そして復興支援委員会（現在）へと引き継がれる過程に携わった総勢40名強の構成員や事業所の方々の「思い」です。当時の状況や活動内容、そして葛藤を含むさまざまな感情が10年の時を経て交差します。今だから語れる思いの数々は過去の教訓と未来への備えとしての道しるべになることを確信しています。次のような構成（目次案）にて年内発行を目指しております。乞うご期待！

（報告書編集担当：伊藤）

東日本大震災復興支援委員会活動報告書(仮称)

- *ミニ写真集 -10年の思い出フォトグラフ
- *巻頭言 -田村綾子会長
- *発行によせて -菅野直樹委員長
- *活動年表 -東日本大震災から10年の活動軌跡
- *関係役員・委員一覧表
- *思いを備えに 第1部 -災害対策本部、復興支援本部各役員、協力者の方々から
- *活動検証 -事業ふりかえり:①成り立ち ②概要 ③効果と課題他
 1. 東北復興 MHSW にゆうす -全号イメージ
 2. 被災地障害者作業所等製品販売事業 -事業所イメージ
Tシャツストーリー
 3. 復興支“縁”ツアー 全7回ツアー、オンライン交流会
 4. 三県ヒアリング -被災三県支部の聴き取り調査から
 5. 仙台合宿 2019 -検証作業スタート！白熱のグループワーク
- *思いを備えに 第2部 -歴代の全復興支援委員から
- *今後の展望と提言 -発信と継続、委員会の意義と葛藤、残し方について等
- *あとがき 編集後記
- *資料編 -ツアー企画マニュアル、アンケート結果、全国大会発表資料



オンライン交流会開催のお知らせ

昨年度に続き、東日本大震災復興支縁オンライン交流会を開催いたします。今年度は被災地域の事業所の方をシンポジストとして迎え、それぞれの今、そしてこれからを震災時の経験を踏まえ、ご報告いただく予定です。その他、グループワーク、懇親会も企画しております。“縁”を大切にしてきた当委員会では、オンラインだからできる、交流会を企画いたしました。再会、そして新たな出会いの機会になればと考えております。皆様と交流会でお会いできることを楽しみにしております。

新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災より、間もなく11年を迎えようとしておりますが、昨年12月18日に復興道路として整備が進められてきた三陸道が全線開通いたしました。これで、仙台市から八戸市を結ぶ全長359kmが1本の高速道でつながりました。かつては8時間半を要した移動時間が時間程度に短縮されます。防災、救急搬送、物流や観光交流の促進など期待されると共に、人と人、そして、それぞれの想いをつなぐ、そんな役割にも期待したいと思っています。

桜の開花時期にあわせ、一度、三陸道をご利用してみたいはいかがでしょうか。（北村）

【ご意見・ご感想をお寄せください】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。お寄せいただいたメッセージは、本紙面や本協会ウェブサイトにてご紹介させていただきます（原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません）。投稿方法はFAXもしくはE-mail: office@jamhsw.or.jpにてお願いいたします。

★題名に「MHSW にゆうすについて」とご記入をお願いいたします。★

第56号 2022年1月15日発行

編集：公益社団法人日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

発行：公益社団法人日本精神保健福祉士協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

★URL : <https://www.jamhsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト <https://www.jamhsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>

